

国保改善を強く要望

南区役所交渉

8月1日名古屋南民商も加盟する「南区国保料など減免をすすめる会」は7団体35人が参加し、国保の集団減免申請と南区役所交渉を行いました。

代表のあいさつの後、区役所の担当者が要望書の回答をしました。

三浦副会長は、「名古屋市の差押は08年の164件から11年の2436件へと14倍に急増している。南区では差押で生活保護を受けざるを得なくなつた方が、3人いる。差押で、生活保護になつた場合は解除すること」を求めました。

国保年金課長は「差押は十分な資力のある人に」限定している」と述べましたが、係長は「差押で生活保護になつたとしても処分に誤りはない」と差押の解除はできないと答えました。

さらに課長・係長も、「私たちははじめに払っている95%の声を聴いてやっている。なんで未納の人を野放しにしているのかという意見がある。皆さんは、残りの5%の立場



差押解除を求める三浦副会長

の意見だ」と述べました。

参加者から「徴収だけが仕事か。高い国保料が払えない区民の実態を理解していない」と怒りの声が沸き起こりました。

今年から国保の所得割の計算方式変更のため、大幅な値上がりになつた世帯に、一般会計からの繰り入れで、引き下げを行うこと、国保の申請減免は区役所で該当者がわかつており、申請しなくても自動的に減免されるよう職権でおこなうことを要望しました。

来週の商工新聞はお休みです

次回8月26日付です

国保請願署名がスタート

7月24日「名古屋市の国保と高齢者医療をよくする市民の会」が呼びかけた国保介護の改善署名スタート集会が開かれました。

今年6月から国保料も算定方式が変わり、10万を超える世帯で、保険料が値上げになりました。

介護保険料は、3年ごとの

見直しで、大幅に引き上げられ、住民税非課税の人で年6万5200円になります。

県下で、6割の自治体の実施している減免制度も名古屋市にはありません。

区役所交渉で問題になつた、差押も支払える保険料になれば解決の目途がつかます。

名古屋市交渉に向けて1会員5名の署名を集めて、国保改善の声を名古屋市へ届けましょう。

「今度何処に行きますか？」と若い役員からも好評

婦人部

8月6日(火)大府市「げんきの郷」で名古屋南民商婦人部の「夏休み企画」交流会と役員会を行いました。土砂降りの雨の中、車3台で乗り合わせ10人が参加しました。役員会では7月に取り組ん



できた「おふくろちゃん」渡しとアンケートの状況、「多くの婦人から気楽に参加してもらつた折鶴も1000羽以上となつた」こと、「南区役所交渉」「道徳平和盆踊り」に参加した感想などが出されました。

また今後は総会后3カ月たち6月から始まつた「パソコン教室」、「母親大会」、「業者婦人決起集会」、「市交渉」「得々フェスタ」、「健康診断」など多くの業者婦人に声をかけ参加してもらおうと確認して終わりました。

以前、愛婦協の総会会場と

「小規模事業者実態調査アンケート」にご協力を

名古屋南民商では、「地域の業者の実態や要求にかみ合った民商活動をすすめる、強く大きな民商を作ろう」とこの8月から「小規模事業者実態調査アンケート」に取り組みます。

まずは、みなさんに回答いただき、合わせて、周りの業者にもぜひ声をかけるなど、ご協力ください。

なつた「げんきの郷」は、お風呂、食事ができ好評でした。「楽しかった」「今度は何処に行きますか?」「と、子連れの若い役員から、次の企画について「レク」担当の溝口さんに尋ねていました。

天気も午後には午前中の雨が嘘のように「買い物日和?」になり楽しい一日を過ごしました。